

昨年12月にご提出いただいた学校評価アンケートの集約結果をお知らせします。結果から明らかになった課題については、来年度の学校運営に生かしたいと思っております。皆様、ご協力ありがとうございました。

平成25年度 学校評価アンケート（保護者）集約結果

<評価基準> A～Eの5段階評価

A よくあ
てはまる

B だいたい
あてはまる

C あまりあ
てはまらない

D あては
まらない

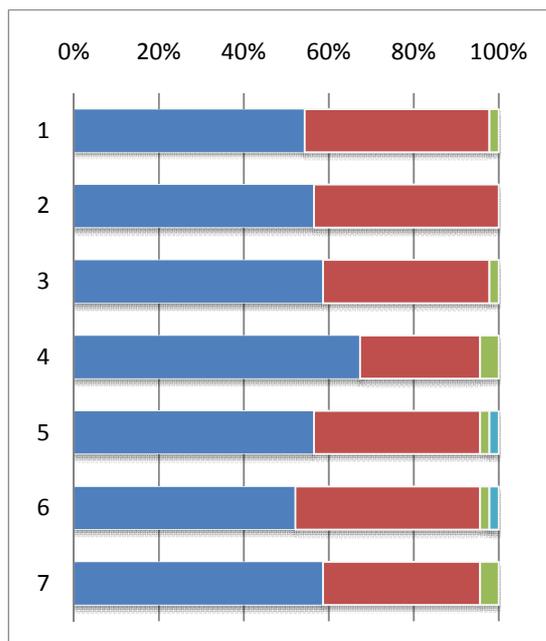
E 判断でき
ない

<授業について>

【回収数】 46名/ 72名

【回答率】 63,9%

No	評 価 項 目	評 価				
		A	B	C	D	E
1	一人一人の児童生徒にあった目標や支援が授業に反映されており、教師は、子どもに合った授業を行っている。	25	20	1		
2	教師は、子どもたちの実態をよく理解しており、授業では子どもに応じた学習活動、教材、働き掛け等を工夫している。	26	20			
3	教師は、個別の指導計画をもとに、保護者の思いや願いを受け止めながら、指導に当たっている。	27	18	1		
4	教師は、子どもたちが楽しい雰囲気や意欲的に活動できるように、笑顔で明るく子どもたちを指導している。	31	13	2		
5	教師は、それぞれの教師の役割分担を明確にしながらかチームワークよく指導し、子どもたちの力を伸ばしている。	26	18	1		1
6	教師は、授業の中で子ども同士の関わりが生まれるように学習活動や支援を工夫している。	24	20	1		1
7	教師は、安全面に配慮した学習活動や指導を心掛けている。	27	17	2		



今年度も全ての項目で、高い評価をいただきました。授業参観日やオープンスクールで、確実な授業実践の様子をお見せできたことや学部・学級便り、連絡帳などで担任から細かい情報をお伝えできたことが数値に表れたと思われます。

特に、「6 関わり」については、昨年度までは数値が上がらなかった項目ですが、今年度は、小学部で身近な友達と、中学部で身近な地域の方々と、そして高等部では、実社会の人々との密接なかかわりを意識して学習活動を設定してきたことで、高い評価につながったと考えます。

また、今年度当校では、「個別の指導計画を授業に生かす」ための研修に継続して取り組んできました。個別の指導計画で立てた目標が理想で終わらないように、日々の授業で、より具体的な支援として実施してきました。その成果も実を結んだように思います。

来年度は、より適切な目標設定を行ったうえで、個別の指導計画を作成し、納得のいく形でお伝えしたいと考えます。保護者の皆様には、アンケートでの希望の聞き取りや個別懇談、作成のための会議研修日の確保などでご協力いただく機会が今年度以上に増えるかと思いますが、個に応じた教育の質の向上のためにご協力をお願いします。

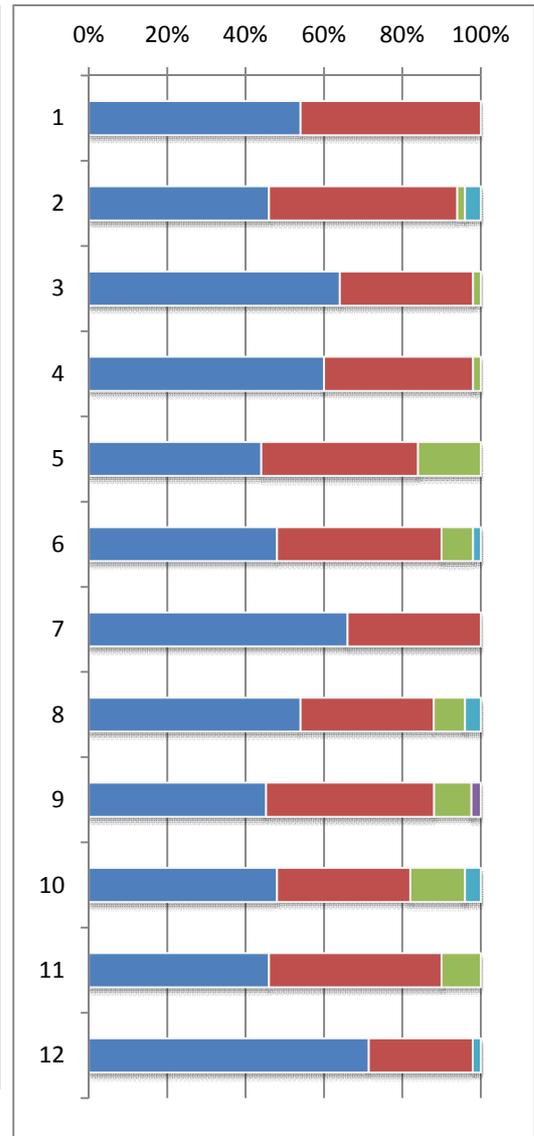


<学校全体について>

【回収数】50名/72名

【回答率】69,4%

No	評価項目	評価				
		A	B	C	D	E
1	【根気・意欲】 教師は長期的な視野で根気よく指導をし、子どもが自分でできることを増やしたり、自信を持って取り組んだりできるようにしている。	27	23			
2	【かかわり・社会性】 教師は、子どもの実態に応じて、人（教師、友だち、その他の人）とのかかわりが広がるように学習活動を工夫し、集団の中で生活する力を伸ばしている。	23	24	1		2
3	【健康】 教師は、保護者（近隣施設）と連携しながら、一人一人の子どもの健康課題に応じて、基本的な生活習慣を身に付けさせるための取組をしている。	32	17	1		
4	【安全・安心】 学校は、安全で安心でき、安定した生活を過ごせるようにしている。	30	19	1		
5	【教師の人間性・専門性】 教師は、特別支援学校の教員として必要な専門性を磨き、面談等で専門的な立場で相談に応じてくれる。	22	20	8		
6	キャリア教育・進路支援 教師は、子どもの将来の自立や就労に必要な力を伸ばす指導を工夫したり、就労進路にかかわる情報を積極的に提供している。	24	21	4		1
7	「個別の指導計画の活用」 教師は、子どものことをよく理解して、「個別の指導計画」をもとにした授業を行っている。	33	17			
8	障害や特性に応じた授業 教師は、一人一人の障害や特性、教育的ニーズに応じた学習活動を工夫し、きめ細かな支援を進めている。	27	17	4		2
9	保護者への情報発信 学校全体、学部、学級の様子を、懇談、通信、ホームページ等でよく伝えることができている。	19	18	4	1	
10	連携した途切れない支援体制 教師は、医療、福祉、労働党の関係機関とよく連携を取りながら子どもの支援に当たっている。	24	17	7		2
11	学校の姿勢 学校は、保護者の声に耳を傾けている。	23	22	5		
12	子どもの様子 子どもは、学校に行くのを楽しみにしている。	35	13			1



授業同様、全体的に高い評価をいただきました。特に「7 個別の指導計画の活用」については、高い数値が得られました。これは左記にも述べたように、職員研修の成果と推察されます。

今後の課題として取上げて挙げれば、「5」「10」の数値が低目に表れています。

「5 専門性」については、教材研究や授業での支援の検討、個別の指導計画の作成などの時間の確保や手立ての改善が必要であることが推察されます。長期休業中や週休日にもかかわらず、自主的に研修会等に参加している職員も多くありますが、その事実と研修の成果を保護者の皆様にお伝えする機会がなかったということもあるかと思えます。

「10 医療、福祉、労働等の関係機関との連携」についても、個別の状況によってケース会議等の開催に差が出る部分かと思えますが、全体としては、学校と各関係機関との間で、日常的に情報交換をし、必要に応じて各ケース会議を繰り返し設定してきました。対象に挙がらなかったご家庭にとっては、判断が難しい項目であったと考えます。

来年度は、学校全体として、保護者の方々のご協力を得ながら、関係機関との連携の機会を増やし、特別支援学校の教員としての専門性の向上に取り組みたいです。また研修内容を保護者の皆様へのお伝えする手立てについてもさらに検討したいと考えます。

最後に、今年度のアンケートでは、「E」評価が少なかったことが特徴として挙げられます。これは、皆様の学校への期待度、教育活動への関心度の高さの表れではないかと思われます。職員一同、心を新たに精進